2023年度

第11回 総 会 議 案 書

● 日 時 2023年7月1日（土） 午後1時30分～4時

● 場 所 たけまるホール　研修室1・2

特定非営利活動法人 生駒の地域医療を育てる会

（次　第）

総会 **1. 開会**

(1) 司会による開会と進行
(2) 事務局による総会成立の報告

2. 理事長挨拶

3. 議長選出

4. 議事

(1) 議事録署名人の選任

(2) 2022年度の活動報告

(3) 第1号議案 2022年度事業報告及び事業収支決算報告
その1. 2022年度事業報告
その2. 2022年度収支報告及び決算

(4) 第2号議案 2023年度事業及び事業収支予算
その1. 2023年度事業方針
その2. 2023年度事業計画及び予算

(5) 第3号議案 2023年度人事

意見交換会

本総会議案は 2023 年 5 月 27 日及び 6 月 24 日の理事会で審議され決定された。

理事長挨拶

一昨年度に続き昨年度もコロナ禍の 1 年でした。2023 年 5 月 9 日の日本のコロナによる死者数(2020 年 6 月からの 3 年間の累計)は 74.694 人でした。　国内の感染者数 (2023.5.9 累計)は 33,803,572 人で全人口(1 億 2223 万 8 千人)の 27.65%でした。およそ 3 割の人が感染したことになります。このような中で国民は様々な活動自粛を余儀なくされ、私たちも前年度に引き続き人がリアルで集まる活動はほとんどできず、昨年度の総会の挨拶で述べた事態がさらに深刻化しました。

そのため当会の昨年度の主な活動はオンラインで行う「おしゃべりサロン」とライン・オープンチャット「生駒の医療介護相談室」の活動でした。ここで私たちは貴重な経験と成果を得ることができましたが、期待される目標から見れば限定的なものにならざるを得ませんでした。現在のコロナの収束兆候が続き、活動自粛の緩和が今後も続けていける状況が訪れることを願って、コロナへの警戒心を持ちながらも今年度は積極的な活動を考えていきたいと思います。

そこで改めて私たちの活動は何のためにあるのかということを考えたいと思います。私たちの活動はそれまでやってきたことを続けることにエネルギーを費やすために、ともすれば、活動を俯瞰的に見る余裕がなくなる危険があります。新しい年度を始めるに当たって一度立ち止まって、定款が示す「住民が参加する地域完結型の医療の実現を目指す」ために今何が必要かを考えたいと思います。

一方で会員の自主的自発的な活動意欲が会全体の活力を盛り上げるということもこれまで体感してきました。これこそが原動力なのでこれを大切にしたいと思います。

昨年度の挨拶で述べたもう 1 つの問題はロシアによるウクライナ侵略でしたが、1 年を経ていまだに終結の見通しが立たず、死者が増え続けています。それに加えて世界では各所で戦争や紛争が起こり、各国で軍事増強が進められています。命を守り、助ける医療に関わる NPO として、私たちは世界と日本が命を奪いあう最悪の道に進まぬように最大の危機意識を持たなければならないと思います。

議事

議事録署名人の選任

議事録署名人として長谷川惇理事及び奥田陽子理事を提案する。

2022 年度の活動報告

2022 年度の活動経緯

日時	内容	場所	参考（理事会の主な議題など）
5 月 21 日	第 10 回総会	たけまるホール 多目的室（9:30-）	正会員総数 23 人、出席者 17 人、委任状 3 人 リアルとオンライン併用
5 月 21 日	第 1 回理事会	同　上　（11:30-11:40）	理事 6 人・監事 理事長/副理事長選出
6 月 24 日	生駒市立病院 8 周年講演会	たけまるホール 小ホール	伊木ま・奥田理事
6 月 25 日	第 2 回理事会	オンライン兼リアル（ららポート）	理事 8 人・監事 PJ の活動、LINE オープンチャット説明会、学習会について
6 月 29 日	介護 PJ:市との懇談 生駒医師会事務局・やまと西和ネット事務局訪問	市役所 セラビー生駒	福祉健康部長・介護保険課長・同補佐//長島・伊木ま理事 理事長
6 月 30 日	県に事業報告を提出	県庁	澤田理事
7 月 15 日	病院 PJ：おしゃべりサロン　第 6 回オンライン（北欧の医療制度）	オンライン	ミニレクチャー講師 伊木雅之理事 特別ゲスト　Gustav Strandell さん
7 月 23 日	第 3 回理事会	オンライン兼リアル（ららポート）	理事 7 人：PJ の活動、LINE オープンチャット説明会、フェスタ、学習会、ららまつり
7 月 28 日	学習会『かかりつけ医について知ろう！』	オンライン（自宅）	講師　伊木雅之理事
7 月 30 日	LINE オープンチャット説明会	ららポート	参加者　1 人
7 月　31 日	もしばなマイスター受講		奥田理事

8 月 27 日	第 4 回理事会	オンライン兼リアル（ららポート）	理事 7 人：PJ の活動、フェスタ、会の PR について、LINE オープンチャットの課題と活用、学習会、ららまつり
9 月 14 日	介護 PJ：市との懇談	市役所	石田福祉健康部次長兼地域医療課長//長島理事
9 月 24 日	第 5 回理事会	オンライン兼リアル（ららポート）	理事 8 人・監事 PJ の活動、フェスタ、学習会など
9 月 30 日	病院 PJ：おしゃべりサロン 第 8 回(イギリスの医療制度)	オンライン	ミニレクチャー講師 伊木雅之理事 特別ゲスト　高井愛子さん
10 月 1 日	自主学習グループフェスタ	たけまるホール研修室 3(13:30～15:30)	寸劇『在宅介護の勘違い』
10 月 7 日	市との懇談	市役所	石田福祉健康部次長兼地域医療課長//長島理事長
10 月 8・9 日	日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会	奈良市内にて開催	湯川理事
10 月 17 日	新入会員 1 人		
10 月 19 日	市との懇談	市役所	山本副市長//長島理事長
10 月 27 日	病院 PJ：おしゃべりサロン　第 9 回オンライン(小児医療について)	オンライン	ミニレクチャー講師 生駒市立病院小児科金子直人主任部長
10 月 30 日	第 6 回理事会	オンライン	理事 6 人：PJ の活動、ららまつり
11 月 10 日	市長に要望書提出	生駒市	第 9 期介護保険事業計画作成に向けての要望書及び添付資料
11 月 11 日	病院 PJ：おしゃべりサロン　第 10 回オンライン(アメリカの医療制度)	オンライン	ミニレクチャー講師 伊木雅之理事 特別ゲスト　上野貴則さん
11 月 16 日	介護保険課長と懇談 病院 PJ:おしゃべりサロン第 7 回オンライン(子どもの食物アレルギー)	電話 オンライン	吉本介護保険課長//長島理事 ミニレクチャー講師 高田慶応たかだ小児科クリニック院長
11 月 25 日	生駒市立病院管理運営協議会	生駒市立病院	3 会員 傍聴
11 月 26 日	第 7 回理事会	オンライン兼リアル（ららポート）	理事 7 人、監事、オブザーバー1 人 PJ の活動、フェスタ、ららまつり

12 月 21 日	介護保険課に介護アンケート案提出	市役所	長島理事
1 月 18 日	市との懇談	市役所	地域医療課石田次長・天野課長補佐//長島・伊木ま理事
1 月 28 日	第 7 回理事会	オンライン兼リアル（セイセイビル 204 会議室）	理事 7 人、監事、オブザーバー1 人 PJ の活動、「生駒の医療介護相談室」、ららまつり
2 月 25 日	第 8 回理事会	オンライン兼リアル（ららポート）	理事 7 人、オブザーバー1 人 どこでも講座開催(介護 PJ)、やまと西和ネット事務局との懇談(ネット PJ)、生駒市・市立病院・当会の三者協議、ららまつり、総会・理事会の予定
2 月 25 日	病院事業推進委員会	市役所	委員参加 会員 2 人　//傍聴 会員 1 人
3 月 11 日	市立病院管理運営協議会	生駒市立病院	３会員 傍聴
3 月 20 日	やまと西和ネット事務局との懇談(AM11-) 市立病院・市・当会 3 者協議(14-)	セラビー生駒 生駒市立病院	やまと西和ネット事務局長//長谷川・長島理事 事務部長・事務長 // 石田次長・天野補佐 // 長谷川・長島理事、磯部・三條場会員
3 月 25 日	第 10 回理事会	オンライン兼リアル（ららポート）	理事 7 人、オブザーバー1 人 今後の活動、ららポートの登録団体紹介雑誌の当会紹介記事
5 月 23 日	地域医療課訪問 介護保険運営協議会	市役所 セラビーいこま	長島理事長、伊木ま理事 傍聴：長島・伊木ま理事
5 月 27 日	第 11 回理事会	オンライン兼リアル（ららポート）	理事６人・監事 今後の活動、総会準備、総会議案書
5 月 29 日	地域医療課によるどこでも講座『知ろう・考えよう！生駒市の医療介護連携』	ららポート研 A	地域医療課：水澤課長、天野課長補佐 参加者：会員 10 人、一般 1 人
6 月 15 日	生駒市医療介護連携ネットワーク協議会	市役所	伊木ま理事傍聴
6 月 24 日	第 11 回理事会	オンライン兼リアル（ららポート）	
6 月 28 日	学習会「地域完結型医療について知ろう！」	オンライン	講師　伊木雅之理事

第1号議案・・2022 年度事業報告及び事業収支決算報告

その 1.　2022 年度事業報告（2022 年 5 月 21 日～2023 年 6 月 30 日）

1－1．2022 年度事業計画に基づく事業について

定款第５条(事業の種類)に基づき記述する。

（１）:調査研究、提言などの事業　及び見学会、学習会、講演会などの事業

(1-1) プロジェクトチーム (PJ) による活動

2022 年度の事業方針に基づき、3 つのプロジェクトを軸に活動を展開した。

(A)「長期的な生駒の地域医療・生駒市立病院の将来像を考えるプロジェクト」(略称:病院 PJ)

＜担当者＞　伊木ま理事・奥田理事

＜2022 年度の活動総括＞

2022 年度の総会方針、項目①②③は 2021 年度と同じである。若い世代も含めた多くの人が医療を自分事として捉え、考えることが重要で、多くの人と医療・地域医療のあるべき姿・将来像（生駒市立病院のあるべき姿・将来像を含む）について対話し、一緒に考えていくという方針は PJ 立ち上げ当初から変わっていない。医療は地域包括ケア(介護や住まい・生活支援も含む)の中心的な役割を果たし、様々な領域のケアと連結している。例えば、疾病予防や健康増進は重要な予防医学的取組であるし、先天的疾患への対応は障がい児(者)福祉に及ぶことから、当 PJ の取り組みは治療医学だけにとどまるものではなく保健や社会福祉の領域にも及ぶ。

１．2022 年度の総会方針は次の通り。

①市民の当事者意識の醸成と意見の聴取

おしゃべりサロンの実施　可能であればもしバナゲームやワールドカフェも検討する。

市民への呼びかけを行うにあたり、1 年分のスケジュールやテーマを提示し、興味がある方には早めに予定に入れてもらえるようにする。また、早めから告知することで何度も目に触れるようになることを目指す。

おしゃべりサロン　オンライン計画案

＊バージョン１　伊木ま・奥田

内容:日本や生駒に身近なテーマで聞き話す

日程（仮）　8/2　10/28　12/23　1/31

＊バージョン２　伊木雅之さん(最初のレクチャー)・奥田

内容 : 海外の医療制度を知ることにより日本の医療について考える。日本に暮らす外国人の方の経験を聞き話す

日程（仮）　7/15　9/30　11/11

１回目　イギリス　（ナショナルヘルスサービス NHS）

２回目　アメリカ　（健康保険を中心に）

３回目　北欧　（家庭医等を中心に）

②地域医療構想を知る・・・地域医療構想調整会議や医療審議会での協議内容を注視する。

③市民・市・市立病院・生駒市医師会との対話
　LINE チャット（生駒の医療介護相談室）や他のＰＪと連携する。

２．昨年度の方針に対しての実績
①市民の当事者意識の醸成と意見の聴取
　おしゃべりサロン オンラインは 5 回実施した。前年度の反省から、早めからの告知、多くの市民へのチラシの配布も心掛けた。もしバナゲームやワールドカフェはコロナ下で対面での開催が困難であったことや時間的な制限などから実施できなかったが、もしバナゲームに関しては奥田理事が講習会マイスターを取得し、今後の開催に繋がる大きな 1 歩を踏み出した。
　おしゃべりサロンは平日の 20:00-21:30 にオンラインで実施した。
概要は以下の通り（⇒　参加者の声から紹介）。

＊バージョン１　日本や生駒に身近なテーマについて開催
　内容：子どもの医療をテーマに開催。ミニレクチャー講師による講演の後、参加者全員で対話。
　広報：いこまち（8・10 月号）及び公共施設・市内公私保育施設などへのチラシ（2 回分両面で案内）配布、NPO の HP、フェイスブックなどで案内した。
　　10 月 27 日（木）第 9 回オンラインサロン『地域医療の一員としての市立病院小児科』
　　ミニレクチャー講師：生駒市立病院小児科主任部長金子直人さん
　　参加者　　11 人（一般 5、会員 6）
　　⇒「金子先生の人柄やお考えがよく分かったので（満足）」
　　11 月 16 日（水）第 7 回オンラインサロン『子どもの食物アレルギーについて考えよう！』
　　(8/31 に開催を予定していたが変更)
　　ミニレクチャー講師：たかだこどもクリニック院長高田慶応さん
　　参加者　　9 人（一般４、会員 5）
　　⇒「今回の様な医師からのおしゃべりサロンの場が浸透し、参加しないと損だよと思えるくらい、正しい医学の知識を身に着けた母親や学校の先生が増えればいいなぁとおもいました。」

＊バージョン２　海外の医療制度を知ることにより日本の医療について考える
　内容：伊木雅之理事による海外の保健医療制度についてのミニレクチャーの後、特別ゲストから話を伺い、その後、参加者全員で対話。
　広報：いこまち(7 月号北欧、9 月号英米)及びチラシ（英米 2 回分は両面印刷）の配布、NPO の HP などで案内した。
　　1 回目　7 月 15 日（金）第 6 回オンラインサロン　『北欧』
　　特別ゲスト：Gustav Strandell さん（元スウェーデン福祉研究所所長）
　　参加者　　申込１８
　　⇒「日本と全く異なるスウェーデンの医療体制について、よく知ることができたから」
　　「外国の医療を知ることは、日本の医療の光と影に気が付きます。日本は贅沢な医療だと思います。」
　　2 回目　9 月 30 日（金）第８回オンラインサロン『イギリス』

（ナショナルヘルスサービス NHS）
特別ゲスト：高井愛子さん（福井大学大学院国際地域マネジメント研究科 マーケティング准教授、元国際看護師 NMC、MBA）
参加者　１８人
⇒「日本だけ見ているとそれが当たり前になりますが、世界を見て、違う観点から良いところどりする上では、必要であると思います。医師や関係者のみが知るという世界はもう古い時代と感じます。」「他国の医療事情を学ぶことで、当たり前と思っていた我が国の医療体制を客観的に評価できるから」
3 回目　11 月 11 日（金）第 10 回オンラインサロン『アメリカ』　（健康保険を中心に）
特別ゲスト：上野貴則さん（2019-2021 仕事で米国赴任、MBA）
参加者　申込１４
⇒「アメリカの医療制度を学ぶことにより、日本の医療制度の良い点にも気が付いた。」
「14 名ほどの小規模ながら、専門職の方、一般の方が同席しお話する機会はなかなかないと思いました。また、生活者の視点というのがまさに今の感覚でフラットで興味深かったです。もう少し聞きたかったです。」

バージョン 1、バージョン 2 とも参加者は少ないものテーマを絞った対話が実現できた。対話の前に参加者の知識のベースを合わせることが非常に重要だということを再認識した。また対話のルールがあると安心して話せることがアンケートからもわかった。
一方で、市内すべての幼稚園・保育園にもチラシを配布するなど努力したが、参加者が爆発的に増えることもなく、市民の医療への関心の低さに愕然とした。今後は市と協働で取り組むなどしてＰＲ活動の改善が必要である。

②地域医療構想を知る・・・
西和構想区域地域医療調整会議、医療審議会とも、情報収集不足により、傍聴できなかった。
開催は以下の通り。
8/3　オンライン開催　内容　西和医療センター整備基本構想について
2/13　オンライン開催　内容　地域医療構想に関する医療の現状等の報告や方針

③市民・市・市立病院・生駒市医師会との対話
市民との対話はおしゃべりサロンを通して実施した。
市・市立病院、生駒市医師会との対話については、ＰＪとして単独では未実施。
病院事業推進委員会において、委員として、市・市立病院、医師会と対話した(2/25)。

(B)「生駒の地域医療・在宅医療・介護・かかりつけ医を考えるプロジェクト」(略称:介護 PJ)
＜担当者＞　長島理事・湯川理事
＜2021 年度の活動総括＞
1.　2021 年度の総会方針は次の通り。
(1)「総合事業」について、コロナの状況を見ながら、中地区での活動状況の把握から始め、当会で出来ることを見極めながら取り組む。

(2)　第 8 期介護保険事業について、課題と対策について生駒市に提言する。
(3)　介護問題への取り組み
　①　介護医療関係者の交流会の実施　②　介護の仕事についての市民への啓発　③　介護人材獲得の方策を市に提言する。夜間の介護士の確保のための事業者の協力の構築をテーマにした検討を行う。
(4)　在宅医療の実態把握と対策
　①　在宅患者数、在宅医療従事者数の現状と不足数及び必要数を掴む。
　②　在宅医療の前進に向けた対応の検討として、市立病院があげられていた課題（市立病院との懇談の際に病院長から話された課題）を当会としても注視する。
㋑在宅医療の充実のために病院と診療所との連携の強化策として市立病院に「在宅医療部（仮名）」を考える（開業医との軋轢を生まないように前向きな連携をつくる）件。
㋺在宅患者の憎悪時の支援がスムーズにできるように、クリニックから病院への受け渡しが迅速にできるようにする件。

２.昨年度の方針に対しての実績
(1)「総合事業」についてはコロナのために地域での活動が展開されず、当会の取り組みもできなかった。
(2)　介護保険事業については最終的に生駒市長への提言としてまとめ提出した。その後はその内容が市によって第９期介護保険事業の作成に生かされるかどうかにかかっている。
2023 年 5 月から始まった介護保険運営協議会で、これまでの介護保険事業計画にはなかった介護人材に関する数的把握について、第９期計画に取り組む前提で事業者と従業者に対するアンケート案が提示された。これは当会の提案内容が生かされたものといえる。これにより生駒市の介護人材の実数と不足数が把握できることになり、大きな前進と言える。
(3)　介護問題への取り組みの①介護医療関係者の交流会については調整の結果市立病院へ申し入れ、病院長の了解を得て２名の医療従事者の参加が予定されたが、コロナの急拡大のため延期となり実施に至らなかった。②の市民への啓発活動は、フェスタでの寸劇「在宅介護の勘違い」、ららまつりでの「市立病院に市民の意見を伝えます」を行った。③の介護人材獲得や事業者支援については具体化するまでには至らなかった。
（４）　在宅医療の実態把握と対策の①については地域医療課に提起したが具体化するまでには至らなかった。②の市立病院との懇談で出てきた課題については今後の追求課題としたい。

(C)「やまと西和ネットプロジェクト」（略称:ネット PJ）
＜担当者＞　長谷川理事
＜2022 年度の活動総括＞
1.2022年度の総会方針はつぎの通り。
(1) やまと西和ネットについて市民の理解と参加を推進する。
　① ZOOM を利用して少人数でも説明会を開くような活動をする。
　② 医療・介護従事者がそれぞれの患者や利用者に対してやまと西和ネットに参加することを勧めてもらうために、システムをよく知ってもらう活動を運営協議会とともに進める。
　③ 市民の理解を深めるためにかかりつけ医がやまと西和ネットを利用して医療を進める動画(㊟)をや

まと西和ネットのホームページや当会のホームページに掲載する。
（㊟：ヘルスケアリレーションズ提供の動画または当会が必要に応じて編集する動画をいう）
⑵ 協議会と協力して生駒市以外の自治体に対しやまと西和ネット運営協議会への参加を促す。
⑶ やまと西和ネットの運用推進に向けて、医師会・市・市立病院等関係諸団体と連携する。

2.昨年度の方針に対しての実績
(1)やまと西和ネットについて市民の理解と参加を推進する。
①一般の人が ZOOM を利用するということは中々ハードルが高く、それを利用した説明会を開く活動は出来なかった。
②こちらの働きかけも弱かったが、やまと西和ネット事務局の方の積極的な動きがほぼ見られず運営協議会とともに進める活動は出来なかった。
（2） 生駒市の第９期介護保険事業計画作成に向けて既に第８期のそれに書かれている「やまと西和ネットを支援する」ということを具体化するべく「医療施設や介護施設がやまと西和ネットに参加する際必要になる初期費用の一部または参加後の会費の一部を補助する」ことを提案することにした。そのため初期費用の概算及び会費について規模別概算資料を出してもらうようやまと西和ネット事務局に依頼し頂いた。しかし生駒市にそれをお話ししたところ「市として奈良県からそのような補助を得られないか打診したところ、それには格段の理由を示す必要があるとの答えであった」ということであった。
そこで当プロジェクトとしては、奈良県が宇陀けあネットの調査で「市民が情報共有同意をするには施設を利用した際そこの医師や担当者から勧めることが最も効果がある」との項目があることを考え、そのためにはまず施設参加を増やす必要があるなどを理由として示す提案をすることにし、それにはやまと西和ネット事務局にも了承してもらう必要があることを含め 2023.3.20 11:00～12:00　やまと西和ネット事務局　森本事務局長と当会から長谷川 PJ 担当（副理事長）・長島理事長とが懇談した。
ここでは他にもやまと西和ネットを介護施設が利用するメリットとして「コミュニケーションボード」があること、事務局から「厚労省が今後進めようとしている医療情報ネットワークがどのようなものになるのかを注目する必要がある。まだ不透明で、明確になるには長期間かかると思われるが、これらの動きがはっきりするまでにはやまと西和ネットの導入を各施設に働きかけても「様子見」となって導入に踏み切らないケースが起こることが心配される」との話が出た。これに対し当会からそのことは同様に感じているが、どういう形態のシステムになったとしても市民による情報共有の同意ということは残る問題で、誰かが取り組まなければ情報共有という目的は前に進まないことと指摘させてもらった。
西和ネット事務局としては６月ごろに今年度の計画を示すことが出来るとのことなので、その後に再度懇談をすることにした。
今後の課題として
厚労省がマイナバーカードの健康保険証利用に関連してレセプトデータや健診データが閲覧できる機能を追加したこと、これまでの紙処方箋に代えて電子処方箋を使うことで禁忌や重複などをチェック出来ること、薬局として病名が分かること等、やまと西和ネットの機能の一部が取り込まれるという状況であるので、今後医療情報のナショナルデータベースをどのように構築していこうとしているのか調査していくことにする。⑶　医師会とは引き続き懇談できるよう進めていきた

い。

参考
宇陀けあネット　登録者数　7,801 人　2023 年 5 月 23 日時点
やまと西和ネット　5,900 人　2023 年 5 月 23 日時点
施設参加数　宇陀けあネット　１１８施設
やまと西和ネット　４５施設

(1-2) オープンチャット「生駒の医療介護相談室」の活用

＜担当者＞　長島理事・磯部会員・三條場会員

＜2022 年度の活動総括＞

１．　2022 年度の総会方針は次の通り。

(1) 利用者・投稿者を飛躍的に増やす。

①チラシを発行する。・・1 年に数回、その時の PR 内容を決めて発行する。

②設立説明会の開催・・リアル説明会を開き、それを利用して市の広報誌で宣伝する。

③当会の各種イベントの際に紹介し、イベント参加者にオープンチャットへの参加を呼びかける。

④開設より約半年が経過した段階で、利用状況を分析し、今後の可能性や改善策などについて検討を行う。

(2)　活用方法を検討する。

①一定の投稿が集まった時点で、集約し活用方法を検討する。

②投稿数や内容がある程度の意味を持つと判断したときは、市や市立病院に紹介する。

２．昨年度の方針に対しての実績

(1) チラシ発行と説明会の開催は 1 回実施した。参加者は開設当初の人数に加え、その後散発的に増えたが飛躍的な増加は実現できなかった。

(2)　投稿の内容については、内容整理とテーマ別の課題まとめを 2 回行った。

(3) 生駒市立病院に本件活動趣旨と投稿内容のまとめを紹介し、以下合意された。

①今後当会・市立病院・生駒市地域医療課の三者で協議を行うことが合意された。

②協議は半年に 1 回程度とする。

③協議内容はチャットの内容を市立病院に紹介し、その内容の中で市立病院サイドとして対応できることについて検討してもらう。

(4)　上記市立病院との協議結果についてチャットに投稿し参加者に知らせた。

３. 今後の課題

(1)　参加者の増加とできるだけコンスタントな投稿を続けることが必要である。

(2) 市民の医療や介護に関する疑問や経験を取り上げて投稿し、議論することを継続していくにはどうすればよいかを検討し、有効策を見出してトライする必要がある。

(２):ニュースやパンフレットの発行事業

①チラシの発行

おしゃべりサロンオンライン、オープンチャット「生駒の医療介護相談室」のチラシを発行した。

②ニュースレターの発行・・・なし。

（３）公的機関・医療機関・公益団体などとの連携事業（各 PJ の事業として前述分は除く）

(3-1) 市や県との連携

生駒市との懇談

2022/5/11　山本副市長・福祉健康部石田次長と懇談：理事長
2022/6/29　福祉健康部石田次長・介護保険課吉本課長と懇談：理事長、事務局長
2022/9/14　福祉健康部石田次長と懇談：理事長
2022/10/7　福祉健康部石田次長と懇談：理事長
2022/10/19 副市長と懇談：理事長
2023/1/18　地域医療課石田次長、天野課長補佐と懇談：理事長
2023/5/23　地域医療課水澤課長、天野課長補佐と懇談：理事長、事務局長
2023/5/29　地域医療課「どこでも講座」

(3-2) 市立病院との連携

2023/3/20 オープンチャット「生駒の医療介護相談室」の活動に記載

(3-3) 医師会、医療・介護事業所などとの連携

①市医師会との連携：
・医師会代表が出席する病院事業推進委員会に委員として参加
・医師会との懇談　2022/6/29　生駒市医師会事務局長と懇談 ： 理事長

②やまと西和ネット事務局との連携：
2022/6/29　やまと西和ネット事務局長と懇談 ： 理事長
2023/3/20　やまと西和ネット事務局長と懇談 ： 理事長、長谷川副理事長(PJ 担当)

③介護保険運営協議会を傍聴　2023/5/23 理事長、事務局長

（４）その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

(4-1) 当会独自の事業

①会員学習会・・・・担当　長谷川理事　奥田理事

近畿大学奈良病院が、令和 4 年(2022 年)4 月 5 日付で、地域医療の中核病院としての役割を担う「地域医療支援病院」として、奈良県から承認を受けたことに関連して理事会では NPO 会員として地域医療について改めて学習する必要があるということになり次のことを実施した。

・表題　「かかりつけ医について知ろう！」
・日時　2022 年 7 月 28 日（木）午後 8 時～午後 9 時 30 分
・対象者　NPO 会員（希望者があれば市民も　会員へのメールによる周知のみで申し込不要）
・目的　かかりつけ医について知り、自分のかかりつけ医を持とうとする
・参加　ZOOM による（自宅で ZOOM 参加が難しい人は近くの理事宅で）
　　会員　10 人（講師含む）　会員外　4 人（1 人のみ理事宅で）　計１４人
・講師　伊木雅之理事　　司会　長谷川理事　　ZOOM 操作　奥田理事
・内容　講師による解説(約 40 分)、質疑応答及び意見交換(約 50 分)

尚「地域完結型医療について知る」学習会を２０２３年６月２８日（水）午後８時から約 1 時間 30 分間で開催する予定。

②生駒市のどこでも講座

生駒市の医療介護連携ネットワークのこれまでの経緯とこれからの予定を聞き、地域医療課の業務内容に関して意見交換を行うことを目的に当会からどこでも講座を依頼し、当会会員及びその周辺の市民を対象に開催された。

日時　5 月 29 日(月)13:30～15:30

テーマ　「知ろう・考えよう！　生駒市の医療介護連携」

場所　ららポート研修室 A

講師　生駒市地域医療課水澤課長・天野課長補佐

参加者　１１名

(4-2) 他団体との共同・連携

①医労連との懇談会・・開催できなかった。

②地域医療を守り・育てる住民活動 全国シンポジウム・・不参加

③生駒市 SDGs アクションネットワークからの案内を会員に連絡するもイベントには不参加。

１－２. 組織活動について

（１)国・県・市などへの報告書提出

①県への提出・・6/30 事業報告書、役員変更届・役員名簿を提出

②市へ報告書を提出し、 自主学習グループ、 ららポート登録団体の登録を更新した。

（２)会議

① 2022 年度総会　5 月 21 日（土）9:30 －

会場はたけまるホール多目的室（14 人)、オンライン（3 人）

（正会員 23 名中、出席者　17 名、委任状 3 名）

② 理事会

理事長・副理事長選任のための第 1 回理事会（総会終了後）を含め 12 回開催。

（３)会員の動向

入会１人（2023 年 6 月 23 日現在　 正会員：24　賛助会員：団体 1）

（４)会員の参加

①会員及び賛助会員の積極参加を促し、各種事業に参加する会員を増やす。

・理事会議事録及び会員連絡をメール・郵送にて会員に届け、適宜、各種事業への参加も呼びかけた。

・会員メーリングリストの作成により、会員への情報提供・情報共有が進んだ。SNS を利用していない会員に対し、自宅を訪問し環境設定、機器の使い方指導を実施。これによりオンライン理事会への参加が容易となった（以上の SNS 関係は長谷川副理事長が担当)。

②会員を増やす努力を行う。・・・他団体のイベントへの参加により会員増につながったと考えられる。

③会報「はぐくむ」の発行担当者の発掘には取り組めなかったため、「はぐくむ」は発行できなかった。

（５）ホームページ

担当　伊木雅之理事

・イベントの開催を案内した（ 6/15、7/1、7/9、8/26、8/31、10/1、10/9、10/11 更新）。

・ホームページの QR コードを紹介冊子『ららポート登録団体一覧』に掲載。

・メール未使用の郵送会員に QR コード連絡。

（６）フェイスブックの活用

管理者　奥田理事、担当　奥田・澤田・湯川理事

理事多忙のため、　フェイスブックの活用は十分に行えなかった。

その2．　2022 年度事業収支報告及び決算

2－1．2022年度決算書　（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

（１）貸借対照表

2023 年 3 月 31 日現在　　（単位：円）

科目	金額	備考
Ⅰ　資産の部		
１．　流動資産		
		三井住友銀行　生駒支店
現金預金	2,473,873	普通預金
未収金	0	
流動資産合計	2,473,873	
２．　固定資産		
（１）　有形固定資産	0	
（２）　無形固定資産	0	
（３）　投資その他の資産	0	
固定資産合計	0	
資産合計	2,473,873	
Ⅱ　負債の部		
１．　流動負債	0	
２．　固定負債	0	
負債合計	0	
Ⅲ　正味財産の部		
前期繰越正味財産	2,401,332	
当期正味財産増減額	72,541	
正味財産合計	2,473,873	
負債及び正味財産合計	2,473,873	

（2）2022 年度事業収支決算書

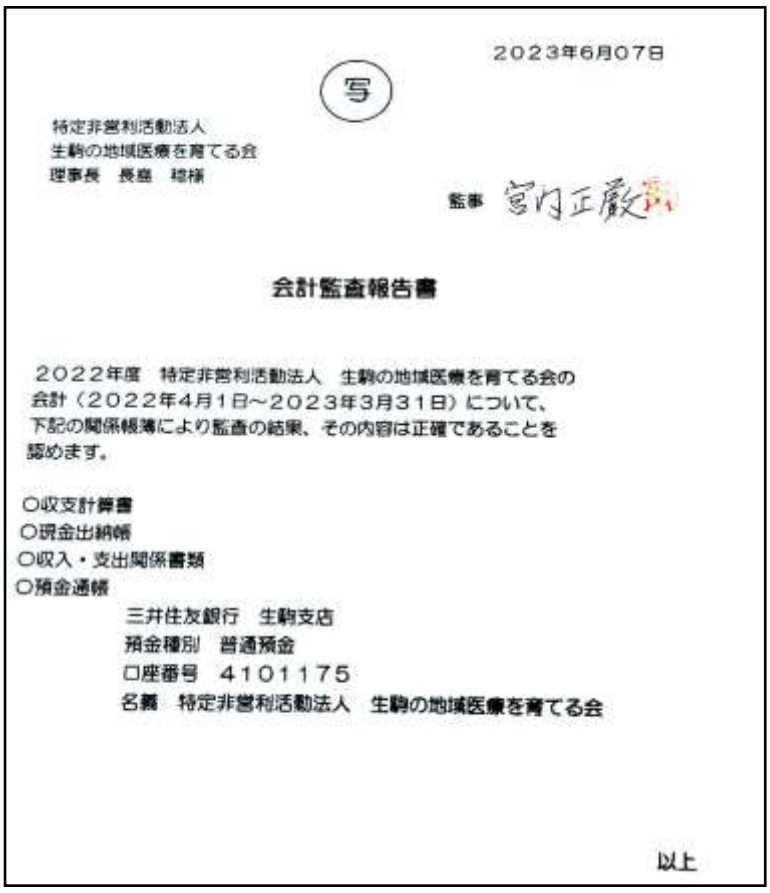
2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

科　目	予算額	金額	摘要
経常収支の部 Ⅰ経常収入			*詳細は金銭出納帳に記載
1　会費収入	180,000	171,600	正会員　51,600 円(1 名未収分は総会時に入金予定。1 名前年度分入金。1 名前納済み) 賛助会員　120,000 円
2　事業収入	0	0	
3　補助金・寄付金等収入			
①補助金収入（2018 年度自主学習）	40,000	0	
②寄付金収入	0	5,100	高田先生よりおしゃべりサロン講師謝礼分寄付他
経常収入合計	220,000	176,700	
Ⅱ　経常支出の部			
1　事業費			
1 地域医療のための調査、企画立案、提言などの事業	60,000	870	介護データ説明資料コピー
2 地域医療のための見学会、学習会、講演会などの事業	444,000	29,430	
3 地域医療のためのニュースやパンフレットの発行などの事業	99,000	22,315	事業用のチラシ等
4 地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業	60,000	4,840	寸劇台本・チラシ・ポスター・マグネット・掲示物
5 その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	35,000	0	
事業費合計	698,000	57,455	
2　管理費			
役員・職員の報酬	0	0	
事務所費	4,000	2,000	ホームページサーバー・電話・FAX 使用料、印刷他
消耗品費	10,000	0	
通信運搬費	30,000	26,504	総会・会員連絡用郵送料　・ズーム利用料
交通費	30,000	16,000	県外理事交通費補助･打ち合わせ等
印刷製本費	10,000	1,015	総会資料・会員連絡・自主学習グループ更新

会議費	10,000	1,205	総会・理事会会場費（特別減免の適応を受ける）
管理費合計	**94,000**	**46,724**	
3　予備費			
予備費合計	100,000	0	
経常支出合計	892,000	104,179	
経常収支差額　(A)	-672,000	72,521	
Ⅲ　その他資金収入の部			
1　前年度繰越金	2,401,332	2,401,332	
2　利息	20	20	
その他の資産収入合計	2,401,352	2,401,352	
Ⅳ　その他資金支出の部			
1　固定資産取得支出	0	0	
その他の資産支出合計	0	0	
その他収支差額　(B)	2,401,352	2,401,352	
当期収支差額　(A) ＋ (B)	1,729,352	2,473,873	
次期繰越収支差額	1,729,352	2,473,873	

会費を銀行振込にて納入される方は、下記の口座にお願いします。
三井住友銀行　生駒支店　普通預金　４１０１１７５　特定非営利活動法人　生駒の地域医療を育てる会

2－2．2022 年度会計監査報告書



2023年6月07日

写

特定非営利活動法人
生駒の地域医療を育てる会
理事長　長島　様

監事　宮内正厳

会計監査報告書

2022年度　特定非営利活動法人　生駒の地域医療を育てる会の会計（2022年4月1日～2023年3月31日）について、下記の関係帳簿により監査の結果、その内容は正確であることを認めます。

○収支計算書
○現金出納帳
○収入・支出関係書類
○預金通帳
　三井住友銀行　生駒支店
　預金種別　普通預金
　口座番号　4101175
　名義　特定非営利活動法人　生駒の地域医療を育てる会

以上

第 2 号議案・・2023 年度事業及び事業収支予算

（特記事項） 新型コロナウィルス感染問題について

2020 年 5 月頃からの 3 年間続いた新型コロナウィルス感染症との戦いは、予断は許さないがようやく収束に向かうのではないかとの観測もあり、この全世界を襲った感染症の検証は人類の必須の課題としなければならず、日本においても独自の検証が待たれる。

日本のコロナによる死者数の累計(2020. 6 ～2023.5)は 74.694 人、国内の感染者数累計(2023.5.9)は 33,803,572 人で全人口(1 億 2223 万 8 千人)の 27.65%、人口 100 万人当たりの死者数(2023.5.8)は全国平均で 595 人、都道府県では大阪府が最も多く 971.7 人、奈良県は 669.2 人で全国 9 位。奈良県のコロナによる死者累計(203.5.9)は 881 人、生駒市内のコロナによる死者は 2022 年 9 月 26 日現在 30 人で、それ以降の公表数はない。

この間全国で医療機関のひっ迫により自宅待機中に亡くなるケースが続出し、介護施設での大量死亡が緊急事態となったなど危機的な状況を生むに至った原因を明らかにし、将来への教訓にしなければならない。

私たちの生駒市ではどうだったのか、市立病院の対応はどうだったのかについては、生駒市をはじめ医師会や市立病院などの関係機関が協力しての検証作業が求められる。当会としてもそれについて何らかの役目を果たすことができないか、何ができるかを考えたい。

その 1. 2023 年度事業方針及び予算

1－1. 2023 年度事業方針

（１）調査研究、提言などの事業 及び見学会、学習会、講演会などの事業

(1-1) プロジェクトチーム (PJ) による活動

(A)「長期的な生駒の地域医療・生駒市立病院の将来像を考えるプロジェクト」(略称:病院 PJ)

＜2023 年度の活動方針＞

これまでの活動を進展させるべく、生駒市と協働で下記①～③をどのように進めるか検討する。

①市民の当事者意識の醸成と意見の聴取（下記を全体で 3 回程度）

・ワールドカフェの実施

・もしバナゲームの実施

・おしゃべりサロン（オンライン、リアル）の実施

②地域医療構想を知る　→①のためのベースになる知識

③市民・市・医師会・市立病院との対話　→①に含まれる

(B)「生駒の地域医療・在宅医療・介護・かかりつけ医を考えるプロジェクト」(略称:介護 PJ)

＜2023 年度の活動方針＞

(1) 「総合事業」について

中地区での活動状況の把握から始め、当会で出来ることを見極めながら取り組む。

(2) 第 9 期介護保険事業について

第９期介護保険事業の作成段階では、昨年度生駒市長へ提出した第９期介護保険事業についての提言の内容が取り入れられるように努力する。

(3)　医療介護ネットワーク問題への取り組みについて

①介護医療関係者の交流会の実施・・昨年度延期になった交流会の実現に努力する。

②医療介護ネットワークの分野で当会が取り組むべきテーマを改めて検討する。

③在宅医療の実態を把握し、在宅医療の前進のために医師会に提案できる方策を地域医療課と協議する。

(C)「やまと西和ネットプロジェクト」(略称:ネット PJ)

＜2023 年度の活動方針＞

(1) やまと西和ネットについて市民の理解と参加を推進する。

①　少人数でも説明会を開くような活動をする。

②　医療・介護従事者がそれぞれの患者や利用者に対してやまと西和ネットに参加することを勧めてもらうために、システムをよく知ってもらう活動を運営協議会とともに進める。

(2) 協議会と協力して生駒市以外の自治体に対しやまと西和ネット運営協議会への参加を促す。

(3) やまと西和ネットの運用推進に向けて、医師会・市・市立病院等関係諸団体と連携する。

(4) デジタル庁の発足と関連して厚労省が医療・介護情報連携をどのように進めて行こうとするか継続的に調査していく。

(1-2) オープンチャットの活用

(1)　利用者と投稿者を増やし市民の医療介護に関する疑問や心配や要望などが気軽に相談できる場として市民に活用されるにはどうしたらよいかを検討する。

(2)半年に１回チャットの内容をまとめて市立病院と生駒市に紹介し、市立病院の運営に役立ててもらえるようにする。

(1-3) おしゃべりサロン開催

病院 PJ でオンライン開催を検討。他の PJ と連携による開催やコロナの状況を見ながら、可能になれば対面での開催も検討する。

(２)ニュースやパンフレットの発行事業

①当 NPO の活動によって得られた情報を広く社会に提供する。

②各事業のためのチラシやニュースレターを必要に応じて発行する。

(３)地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業

(3-1) 市や県との連携

①コロナ拡大への対応に関して必要な連携を行う。

②生駒市の危機管理体制について・・取り組み方法を検討する。

③生駒市立病院事業推進委員会、生駒市立病院管理運営協議会、県医療審議会、生駒市医療介護連携ネットワーク協議会、生駒市介護保険運営協議会、西和構想区域地域医療構想調整会議などを

傍聴する。
④生駒市自主学習グループフェスタ・・・参加する
⑤生駒市市民活動推進センター ららまつり・・・参加する
⑥生駒市の SDGs アクションネットワーク・・参加する。
⑦PJ 関連についてはそれぞれの PJ の活動方針に示す。

(3-2) 市立病院との連携

①コロナ対応として市立病院と意見交換を行い、認識を共有し、必要に応じて市民に発信する。
②市立病院との懇談会で病院長より話があった”市立病院と近大奈良病院とが連携し、生駒市内の他の病院それぞれが得意分野の医療を提供しあい、生駒の地域医療全体としてまとめることによって、現在は大阪が近いのでそちらに行ってしまう人が多いが、そのような人を減らしていけるようにしたい。”という構想について、当会としても近大奈良病院が許可された地域医療支援病院の意味も含め学習する。
③市立病院の課題として挙げられた「在宅医療部(仮名)」(開業医との軋轢を生まないように前向きな連携をつくる)構想、在宅患者の憎悪時の支援がスムーズにできるように、クリニックから病院への受け渡しが迅速にできるようにする件について当会としても注視する。
④オープンチャット「生駒の医療介護相談室」で得られた市民の意見などを協議する当会・市立病院・生駒市の三者協議を軌道に乗せる。
⑤PJ 関連についてはそれぞれの PJ の活動方針に示す。

(3-3) 医師会、医療・介護事業所などとの連携

①医師会・医療介護事業所等と意見交換を行い、認識を共有する。
※市立病院が市の医師会に入っていない状態が続いていることに対して、2021 年に市立病院と生駒市長より医師会に対して医師会入会の要請が行われたが医師会からはそれに対する返事はなかった(2023.5.29 どこでも講座の席で地域医療課より確認)とのことである。当会と医師会との懇談が実現したときには、この件についても医師会の意向を聞くことにしたい。
②PJ 関連についてはそれぞれの PJ の活動方針に示す。

(４)その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

(4-1) 当会独自の事業

①会員学習会・・当会会員及び市民を対象にテーマを設けて学習する。
テーマ　住民が参加する地域完結型の医療・介護
学習担当者　未定

(4-2) 他団体との共同・連携

①医労連との懇談会・・コロナの状況を見ながら、可能になれば開催を検討する。
医労連からこれまで多額の賛助会会費が納められてきたが、今後はこれまでのような多額の賛助会費をいただくことを辞退したい旨医労連に打診したい。
②地域との連携・協働の取組・・PJ の活動を通じて連携・協働を追求する。

③地域医療を守り・育てる住民活動 全国シンポジウム・・参加予定

１－２． 組織活動について

（１）国・県・市などへの報告書提出

①県への提出・・役員変更届・役員名簿を提出する。

②国からの回答要請・・・経済センサス・活動調査等に適宜回答する。

（２）会議等

①理事会 ・・原則として月に１回第４土曜日に開催する。ZOOM 会議とリアルの併用を基本とし、コロナの動向により柔軟に開催する。

②忘年会等・・会員の交流の場を設けることに取り組むが、コロナの状況により臨機応変に対応する。

③総会・・来年度のできるだけ早い時期に開催する。

（３）会員の参加

①会員及び賛助会員の積極参加を促し、各種事業に参加する会員を増やす。

②会員を増やす努力を行う。

③会報「はぐくむ」の発行については、担当者の発掘が必要で今年度にできるかどうかは不明。

（４）ホームページ

①2023 年度総会後できるだけ早期に 2023 年度の理事長挨拶、事業計画、会計報告を掲載する。

②会から市民への発信事項、会の行事の予定、その他会の活動趣旨に関連ある情報等を随時掲載する。

③総会議案及び議事録をホームページに掲載する。理事会議事録については 2019 年度第 2 回理事会にてホームページに掲載することを決定したが、昨年度の総会でこの決定を保留とし、再度理事会で検討することとなった。昨年度はその検討ができなかったので引き続きの検討課題とする。

④ホームページへのアクセス数をカウントできる設定を検討する。

その 2． 2023 年度事業計画及び予算

２－１．2023 年度事業予算案

（１）地域医療のための調査、企画立案、提言及び見学会、学習会、講演会などの事業

合計４５７，０００ 円

用途

①病院 PJ に係る取組・・・・・・・157,000 円

チラシ・ニュースレター印刷代 34,000 円 〈事業計画(3)〉

ニュースレターのデザイン料 50,000 円 〈事業計画(3)〉

もしバナマイスタープログラム受講講座 18,000 円×1=18,000 円 〈事業計画(1)①〉

講師謝礼 （3000 円～5000 円）×3 回=15,000 円 〈事業計画(2)①〉

イベント実施雑費（お菓子、文房具など） 10,000 円 〈事業計画(2)①〉

会場費　10,000 円×　3 回=30,000 円　〈事業計画(2)①〉

②介護 PJ に係る取組・・・・・・・・・・200,000 円

「総合事業」関連「住民主体の生活支援サービスモデル事業」関連 50,000 円　〈事業計画(1)①〉

介護医療交流会関連費用　100,000 円〈事業計画(2)②〉

介護に関する啓発活動(講演会等)　50,000 円〈事業計画(2)②〉

③ネット PJ に係る取組・・・・・・・・・80,000 円

市民対象説明会　30,000 円　〈事業計画(2)③〉

やまと西和ネット事務局と協力して実施する活動　50,000 円　〈事業計画(1)②〉

④LINE オープンチャット・・・・・・・・20.000 円

チラシ発行　2 回　10,000 円　〈事業計画(3)〉

説明会　10,000 円　〈事業計画(2)④〉

(２)ニュースやパンフレットの発行事業　〈事業計画(3)〉

合計　５０，０００円

(３)地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業　〈事業計画(4)〉

合計　４０，０００円

用途

①市や県の会議の傍聴提言

（生駒市立病院事業推進委員会、生駒市立病院管理運営協議会、県医療審議会、生駒市医療介護連携ネットワーク協議会、西和構想区域地域医療構想調整会議など）

②中地区健康まちづくり協議会関連費用

③医師会、医療・介護事業所などとの懇談

④生駒市自主学習グループ・生駒市市民活動推進センターへの参加

⑤地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウムへの参加（30,000 円）

(４)その他、本法人の目的を達成するために必要な事業　〈事業計画(5)〉

合計　１０，０００円

用途

①医労連との懇談

②その他

2023 年度総事業費合計‥　557,000 円

２－２.　事業計画書

特定非営利活動に係る事業　2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日まで

定款の事業名	事　業　内　容	実施予定日時		実施予定場所	対象者	支出見込額(千円)

(1)地域医療のための調査、企画立案、提言などの事業 (2)地域医療のための見学会、学習会、講演会などの事業	①医療・介護に係る取組み ②やまと西和ネットに係る取組み ①地域医療・市立病院に係る取組み ②在宅医療・介護に係る取組み ③やまと西和ネットに係る取組み ④オープンチャット説明	適宜実施		主として市内の公共施設等、テーマ毎に適宜	会員・市民・県民など 会場費、講師謝礼、お茶代など	１１８ ① 68 ② 50 ２４５ ① 55 ②150 ③ 30 ④ 10
(3)ニュースやパンフレットの発行等事業	（1）（2）（4）などの予定や結果を広く社会に提供する	適宜実施			市民・県民など	１４４
(4) 地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業	①市や県との連携 ②市立病院との連携 ③医師会、医療・介護事業所などとの連携 ④生駒市市民活動推進センター、自主学習グループ連絡会への参加 ⑤地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウムへの参加 ⑥その他	適宜実施		テーマ毎に適宜	会員・市民・県民、地域住民など	４０
(5)その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	①医労連との懇談 ②その他	適宜実施		テーマ毎に適宜	会員・市民・県民など	１０

合計　５５７千円

2－3.　2023 年度事業予算書 (2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

科　　目	金　　額		
経常収支の部 **Ⅰ経常収入** 　1　会費収入			

年会費			
正会員：2,400 円/人×23 人	55,200		
賛助会員	5,000	60,200	
2　事業収入	0	0	
3　補助金・寄付金等収入			
①補助金収入			
生駒市（生涯学習自主学習グループ補助金）	5,000		
②寄付金収入	0	5,000	
経常収入合計			65,200
Ⅱ　経常支出の部			
1　事業費			
（1）地域医療のための調査、企画立案、提言などの事業	118,000		
（2）地域医療のための見学会、学習会、講演会などの事業	245,000		
（3）地域医療のためのニュースやパンフレットの発行などの事業	144,000		
（4）地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業	40,000		
（5）その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	10,000	557,000	
2　管理費			
役員・職員の報酬	0		
事務所費	4,000		
消耗品費	10,000		
通信費（ホームページ含む）	30,000		
交通費	20,000		
印刷製本費	10,000		
会議費	10,000	84,000	
3　予備費	100,000	100,000	
経常支出合計			741,000
経常収支差額　(A)			－675,800
Ⅲ　その他資金収入の部			
1　前期繰越金	2,473,873		
2　利息	20		
その他の資産収入合計			2,473,893
1　固定資産取得支出	0	0	
その他の資産支出合計			0
その他収支差額　(B)			2,473,893
当期収支差額　(A) ＋ (B)			1,798,093
次期繰越収支差額			1,798,093

第3号議案・・2023 年度人事

1.役員人事

（１）理事長及び副理事長

定款の定めにより理事長及び副理事長は理事会で決定するため、以下の者を理事会に推薦する。

理事長　・・奥田陽子(新任)

副理事長・・伊木雅之(新任)、長島稔(新任)

（２）理事及び幹事

理事(50 音順)・・伊木雅之(留任)、伊木まり子(留任)、石堂吉輝(留任)、磯部良和(新任)、
奥田陽子(留任)、熊谷江利子(留任)、三條場裕紀(新任)、長島稔(留任)、
長谷川惇(留任)、湯川直紀(留任)

監事・・宮内正厳(留任)

2.その他の人事

下記の担当については総会の議決事項ではなく、理事会の議決事項とする。

(1)事務局・・伊木まり子理事(事務局長)

(2)会計担当業務・・事務局

(3)自主学習グループ・ららポート担当業務・・事務局

(4)県への報告書提出担当業務・・事務局

(5)法務局への登記関連担当業務・・事務局

(5)ホームページ担当・・伊木雅之理事

(6)フェイスブック担当・・奥田理事

(7)オープンチャット(LINE)担当・・長島理事

以上